

ヨシ原耕地のバードウォッチングを楽しもう

自然解説員
直井 宏

今年の冬は寒気が次々に日本列島に流れ込んで、各地で低温や降雪量の記録を更新しています。

バードウォッチングはこの様な急激な天候の変化で見る鳥や場所が変わる事も楽しい事です。この時期は北国の繁殖地から越冬する為に戻ってきた多くの冬鳥たちも加わって、一年で一番鳥達と出会える時になります。

霜柱の立つ広大な農耕地やヨシ原を巡っていると、あの夏の強烈な日差しと草いきれの中で繁殖のために競って囀っていた「オオヨシキリ・コヨシキリ」、

それに、稲田の上を飛び交っていた「ツバメ」等、去っていった夏鳥達を思い起こします。留鳥の「セッカ・オオ

セッカ・コジュリン」達はヨシや草地の中において目立つ場所には姿を殆ど現さず、稀に地鳴きの声が聴ける程度になっています。冬鳥の「オオジュリン」は移動する時には低く飛んで急角度でヨシ原に飛び込むので離れた所からでも識別ができます。この時期は季節風の強く吹く日が多いのですが、穏やかな日にはパチパチとヨシの皮を剥いて餌



オオジュリン

やかな日にはパチパチとヨシの皮を剥いて餌を探す姿が多く見られます。河川の堤防上の道に農作業の車や散歩をする人が近づくと、地上で種子などを啄んでいた冬鳥の「カシラダカ」や留鳥の「カワラヒワ・スズメ」等の群れが次々と近くの樹木に飛んで行き周囲の様



チュウヒ

子を伺って危険が去るともとの場所にハラハラと舞い降りる一連の行動パターンを観察出来る時もあります。

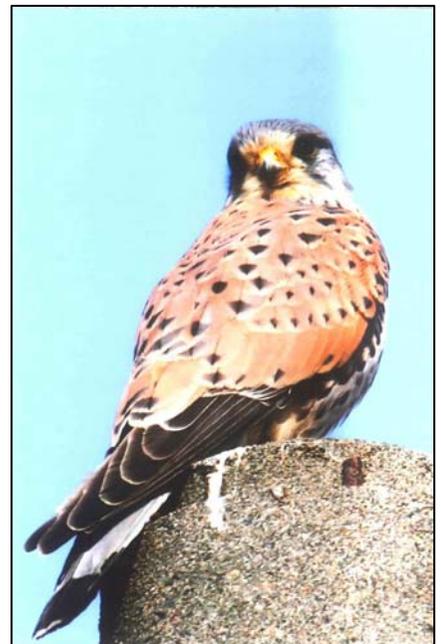
肉食の留鳥「モズ」は餌の少ない今は縄張りの内の巡回を多くする様になり、突然の出現に驚いて飛び出す留鳥の「ホオジロ・アオジ」冬鳥の「ツグミ・ジョウビタキ」等を見かける事もよくあります。昨年、大雪の降った数日後に生息環境が重なるジョウビタキをモズが襲った時に、旋回をしながら急上昇して逃げ切った様子を間近で見かけたこともありました。

広大なヨシ原に君臨する冬鳥の「チュウヒ」はヨシ原に特化した飛翔能力が優れた猛禽で、特徴的なV字型の翼(上反角)でヨシ原の上を低く羽ばたきと帆翔を繰り返して「ネズミ」等の動きから発する僅かな音を発達した耳でキャッチすると、瞬時に尾羽を広げて垂直に降下して捕らえます。チュウヒはタカ科に属する中では耳と目を同時に使って狩をするために目と耳が前についているので顔は幅広くハート形に隈取られてフクロウに似た個性的な顔立ちをしています。

隣接する耕地(水田)に場所に移して観察をしますと始めは周囲の冬枯れの色と完全に溶け込んで気付かなかった冬鳥の「タヒバリ」の群れや単独で地上の餌を探す本格的な越冬スタイルの冬鳥「ツグミ」、秋の刈入れ後に水の溜った場所には冬鳥の「タシギ・タゲリ」、更に田起しが済んだ乾いた場所には留鳥の「ヒバリ・セグロセキレイ・ハクセキレイ・キジバト・ムクドリ」、浅い水路の水の流れている部分には留鳥の「コサギ・ダイサギ」底の出ている所には留鳥の「イソシギ」、枯草の残っている土手にはカワラヒワの大群等々、おなじみの鳥達も見られます。

少し風が吹く日などに、上空を見上げると、帆翔している数羽の留鳥の「トビ」の近くにゆっくりとした羽ばたきで移動中の漂鳥「ミサゴ」の姿や、ホバリングしながら小形の哺乳動物や小鳥を狙うハヤブサ科の留鳥「チョウゲンボウ」、更に近くの電柱の上には同じ獲物を探すタカの漂鳥「ノスリ」の姿も見られます。

※水辺(ヨシ原耕地)の冬のバードウォッチングは視界が開けて壮快である反面、風が吹き抜けて寒いので、防寒対策を十分する事と今の時期は太陽の位置が低く非常に日差しが眩しいので順光の位置を念頭においてコースの設定をして楽しんでください。



チョウゲンボウ

クリスマスローズ

みどりの相談員
まるお みえこ
丸尾 三恵子

キンポウゲ科ヘレボルス属・花ことば：追憶

「クリスマスローズ」という呼称は、本当は、クリスマスのころに開花するヘレボルス・ニゲル (*Helleborus niger*) だけを指していますが、日本では、「レンテンローズ」と呼ばれるヘレボルス・オリエンタリス (*Helleborus orientalis*) なども「クリスマスローズ」と呼び、多くの品種は、クリスマスでなく、2月から3月に花が咲きます。

寒い冬の花の少ない時期に咲くクリスマスローズは、貴重な冬の花として人気ですが、近頃は、育種が進んで、色や形、咲き方のさまざまな品種がでているのも魅力です。

花と見える部分は、実は、ガクです。むしろ、花でなくガクなので、長く花を楽しめるのです。

●●ガクが落ちにくいことから、大学受験合格の花としても、密かに人気です。

庭でも鉢で楽しんでも、一輪挿しにしても、和風にも洋風にも合う花です。

近頃のトレンドは、花茎が短くて花弁に隙間のない品種だそうです。流行に左右されずに、自分好みの花を育てるのも楽しいです。

お店で売っている品種は、タネから増やした実生苗と、植物の組織から増やしたメリクロン苗に大別されます。

花が咲いていない苗を購入する時、ラベルと同じものが欲しい場合は、値段は少し高めですがメリクロン苗を。どんな色の花が咲くか後から楽しみにしたい場合は、実生苗がおすすめです。

○栽培のポイント

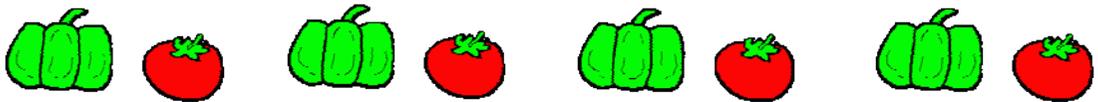
- 苗選び：茎が太くしっかりしたものを選びます。
- 栽培場所：夏は半日陰、冬は日当たりが良くなる落葉樹の根元がおすすめです。
- 水やり：7月から9月の休眠期は、水をやりすぎない。庭植えのものは、天気まかせて与える必要はありません。
- 肥料：10月から翌6月くらいまで、化成肥料などを施肥。
- 病害虫対策：株間が狭いと葉と葉がこすれあい、病気になりやすいので株間は十分にあげます。



- ・植え替え・株分け：大株になりすぎると生育が悪くなります。秋から冬にかけて、大きくなり過ぎたように思ったら、2つくらいに株分けします。
鉢植えの場合、鉢は、深鉢にします。
- ・古葉取りふるはと：有形種以外は、株の古い葉を秋から冬の時期に取ってあげて光が当たるようにしてあげるのが、株をしっかりとさせて、たくさん花が咲かせるコツです。
- ・タネを取らない場合：花の色があせてきたら株を弱らせないために、株元から切り取ります。

主な一年の作業

| 作業 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---------------|----|----|----|-----|----|--------|----|----|----|-----|-----|-----|
| 花 | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | タネ | | | | | | 蕾 | ☀ |
| タネ播き（とりまき） | 発芽 | | | 鉢上げ | ←→ | | | | | | | |
| 葉の成長 | | | | | ←→ | | | | | | | |
| 植えつけ・植え替え・株分け | ←→ | | | | | | | | | ←→ | | |
| 古葉取り | ←→ | | | | | | | | | | ←→ | |
| 水やり | | | | | | 根腐れに注意 | | | | | | |
| 肥料 | ←→ | | | | | | | | | ←→ | | |



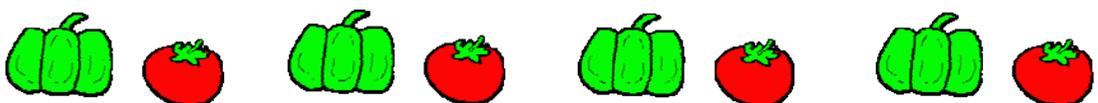
みどりの相談室

パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時～12時・午後1時～3時30分

【電話】 047-345-8738 ハナミツバチ



ヤナギに学ぶ、自然と共に暮らす方法

自然解説員
あいざわ 相澤
あきひと 章仁

みなさんはヤナギという木を知っていますか？日本には多くのヤナギの仲間が存在します。最もイメージしやすいものは街中などでよく見かけるシダレヤナギだと思いますが、シダレヤナギは実は中国原産で、日本に元々生えているヤナギには、しだれる種類はありません。ヤナギは湿地や川沿いなど水がたくさんある所が好きな木で、放置された河川敷や川の中洲なかつで良く見られます。

さて、ここで突然ですが問題です。水が多くてやわらかい地面の上に育つヤナギの木ですが、その根っこはどうなっているのでしょうか？次の①、②から正解と思う方を選んでみて下さい。

①風が吹いたら倒れてちゃう。太い根を地中深くまで伸ばしてふんばっているよ。

②いやいや、風に対抗しても勝てません。根は細くて短いよ。勝てない勝負はしないんだ。

正解は生態園の木道沿いにあるヤナギが、2009年秋の台風の風で倒れた時の写真を見て確かめてみましょう（右写真）。

どうですか？太い根は見当たらず、長さも短いのがわかりますか？



地面がやわらかく、風の影響を受けやすい場所が好きなのに、なぜこんなに短い根で暮らしているのでしょうか？これも問題にしてみます。①と②、どちらが正解だと思いますか？

①倒れてしまっても、そのまま生きていられるから。

②倒れてしばらくすると、自分で起き上がることができるから。

正解は、同じヤナギの冬の姿を見て確認してみましよう（右写真）。写真の右側が元の根っこで、左側に向かって太い幹が倒れています。その幹から空に向かってたくさんの枝が伸びているのがわしょうか？



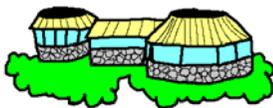
ヤナギは枝や根を出す能力が大変強いため、たとえ倒れてしまっても、その状態からまた枝を伸ばし、根を生やし、葉っぱをたくさんつけて花を咲かせることができるのです。ということで、正解は①でした。

一生懸命根を張って自然の力に対抗するのではなく、風が吹いたら倒れてしまい、倒れてもまた枝や根を伸ばしてやり直すという、自然の力を受け入れる生き方をヤナギはしているのです。

私たち人間は自分たちの生活を守るため、自然の力に対抗し、自然と戦おうとしてしまうことが多いですよね。時には湿地のヤナギを見習って、自然の力を受け入れ、自分たちの生活を見直すことも必要かもしれません。

～自然観察舎 湿地の観察会のご案内～

| | |
|------|--------------|
| 実施日 | 土曜日・日曜日・祝日 |
| 実施時間 | 10:00～10:30 |
| | 11:00～11:30 |
| | 13:30～14:00 |
| | 14:30～15:00 |
| 定員 | 25名（当日先着順受付） |



【定員】

先着25名（当日受付）

【受付】

自然観察舎窓口

【電話】

047-340-4140

パークセンター2月・3月の催し物

| 講座名 | 日時 | 費用 | 定員 | 講師名 | 受付開始日 |
|---|----------------------------|--------|----|----------------------------|---------|
| 園芸教室 「バレンタインに贈るプリザーブドフラワー」 | 2月7日(土曜) 13時30分～15時30分 | 2,000円 | 20 | みどりの相談員 秋元 満司氏 | 1月15日から |
| 東葛園芸クラブ公開学習会 「春からの草花の植栽管理」 | 2月10日(火曜) 10時00分～12時00分 | 無料 | 20 | 園芸アドバイザー 白瀧 嘉子氏 | 1月15日から |
| 園芸教室 「楽しく育てるクリスマスローズの植え替えと育て方(実践編)」 | 2月14日(土曜) 13時30分～15時00分 | 1,000円 | 24 | みどりの相談員 丸尾 三恵子氏 | 1月15日から |
| バードウォッチング 「～公園で見られる冬鳥 パート3～」 | 2月15日(日曜) 10時00～11時30分 | 無料 | 25 | 自然解説員 今村 裕之氏 | 1月15日から |
| みどりの講習会 「実つきをよくする果樹栽培」 | 2月21日(土曜) 13時30分～15時30分 | 無料 | 50 | 千葉大学助教 三輪 正幸氏 | 1月15日から |
| 昆虫ウォッチング 「～虫の冬越しを観察しよう～」 | 2月22日(日曜) 10時00分～11時30分 | 無料 | 25 | 自然解説員 室 紀行氏 加賀 芳恵氏 | 1月15日から |
| 東葛園芸クラブ公開学習会 「越冬野菜の春先管理と夏野菜の育苗」 | 2月24日(火曜) 10時00分～12時00分 | 無料 | 20 | 元千葉県農業改良普及センター所長 酒井 利夫氏 | 1月15日から |
| 東葛園芸クラブ公開学習会 「庭づくりの基礎 ～日本庭園手法による～」 | 2月24日(火曜) 13時00分～15時00分 | 無料 | 20 | 千葉県都市緑化植物園相談員 大矢 文夫氏 | 1月15日から |
| 樹木ウォッチング 「～冬の樹木と春のさざし～」 | 2月28日(土曜) 10時00分～11時30分 | 無料 | 25 | 自然解説員 栗田 吉治氏 | 1月15日から |
| 園芸教室 「落葉果樹の剪定」 | 3月1日(日曜) 13時30分～15時00分 | 無料 | 30 | 緑の相談員 野口 宣二氏 | 2月15日から |
| バードウォッチング 「～にぎわう鳥たちを見よう～」 | 3月8日(日曜) 10時00分～11時30分 | 無料 | 25 | 自然解説員 直井 宏氏 | 2月15日から |
| 東葛園芸クラブ公開学習会 「雑木盆栽の植替え」 | 3月10日(火曜) 10時00分～12時00分 | 無料 | 20 | 日本盆栽協会 松戸支部長 真嶋 誠一氏 | 2月15日から |
| 東葛園芸クラブ公開学習会 「果樹の春先にやるべき作業～剪定、植替え、施肥～」 | 3月10日(火曜) 13時00分～15時00分 | 無料 | 20 | 千葉大学助教 三輪 正幸氏 | 2月15日から |
| 植物ウォッチング 「～はじめてみませんか?植物観察～」 | 3月22日(日曜) 10時00分～11時30分 | 無料 | 25 | 自然解説員 加藤 裕一氏 | 2月15日から |
| 東葛園芸クラブ公開学習会 「春の寄せ植え実習～プリムラ・ポリアンサス(3色)・白妙菊など～」 | 3月24日(火曜) 13時00分～15時00分 | 1,000円 | 20 | 園芸アドバイザー 白瀧 嘉子氏 | 2月15日から |
| 園芸教室 「シンビジウムの株分け」 | 3月28日(土曜) 13時30分～15時00 | 500円 | 24 | みどりの相談員 丸尾 三恵子氏 | 2月15日から |
| みどりの講習会 「見て美しく食べておいしい庭づくりレシピ」 | 3月29日(日曜) 13時30分～15時30分 | 無料 | 50 | ハーブ研究家 桐原 春子氏 | 2月15日から |

※すべての催し物が、予約制となっております。受付開始日の午前9時から受付を行います。



観て・聴いて・体験して楽しむ
子どもから大人まで楽しめるプログラムです

日時:平成27年3月15日(日)14:00開始 悪天候の場合中止
場所:千駄堀池のほとり
※演奏後に太鼓体験があります



和太鼓の公演

感動@21世紀の森と広場



感動@21世紀の森と広場 和太鼓の公園
平成27年3月15日(日)14:00~15:00
21世紀の森と広場 千駄堀池のほとりにて開催します。
演奏後に太鼓体験もあります。

★ご来園の皆様へお願い★

安全、快適に公園を利用させていただくため、本公園ではいくつかのルールがあります。
自転車 (キックボード含む) の乗り入れ、**ペット** の持ち込み、**テント** 設営、**魚釣り**
り (たこ糸を使ったザリガニ釣りはOK、テグスは不可) などは禁止となっています。
また**動植物の採集**や鳥などへ**エサをやる**こともかたくお断りしています。きれいな花もみんなですべて採ったらなくなってしまいますし、可愛^{かわい}いからと、人間の食べ物を鳥などにあげると自分でエサを捕れず、自然界で生きていけなくなり、かえってかわいそうなことになってしまいます。ルールを守って楽しく過ごして下さいね。

発行日:2015年2月1日
発行:21世紀の森と広場パークセンター
開館:9:00~16:00
(3月1日からは9:00~16:30)
月曜休館(祝日開館/翌日休館)
〒270-2252 松戸市千駄堀269
TEL 047-345-8900
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。



21世紀の森と広場シンボルキャラクター
ドンちゃん・グリちゃん